

- 問1 平安時代の政治の変遷について述べた記述のうち、白河上皇が院政を開始するより前の時期に行われていた、摂関政治の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|
| 1. 藤原氏が天皇の母方の親戚となり、摂政や関白の職を独占して政治の実権を握った。 | 2. 位を退いた天皇が上皇となり、摂政や関白を抑えて「院」で政治を行った。 | 3. 唐の制度にならって律令を整備し、中央集権的な官僚制によって政治を行った。 | 4. 有力な武士が征夷大將軍となり、鎌倉に幕府を開いて全国の武士を統制した。 |
|---|---------------------------------------|---|--|
-
- 問2 平安時代の中期以降、地方の有力者が自ら開発した土地を中央の有力貴族や大寺社に寄進し、名目上の領主になってもらう動きが広がりました。この仕組みにおいて、寄進を行った地方の有力者の主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 土地をすべて国有化し、朝廷の役人として給料をもらうこと | 2. 国司による重い税負担を回避し、土地の支配権を実質的に守ること | 3. 班田収授法に基づいて、土地を周辺の農民へ平等に再分配すること | 4. 天皇から直接、新しい農具や肥料の提供を受けること |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
-
- 問3 日本の平安時代中期にあたる10世紀の世界情勢について述べた文として、歴史的な事実と合致するものを選択してください。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 中国では長らく続いた唐が滅亡し、社会が混乱する五代十国の時代に入った。 | 2. モンゴル民族が勢力を広げ、フビライ・ハンが元を建国した。 | 3. 中国を再統一した隋が、日本に対して朝貢を求める使節を送ってきた。 | 4. 朝鮮半島では高麗が減び、李氏朝鮮による統治が始まった。 |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
-
- 問4 平安時代の政治の変遷を示す資料において、藤原道長や頼通の時代から約100年後の状況として、白河・鳥羽・後白河の3名に共通する、政治の実権を握る上での立場を何というか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 関白 | 2. 將軍 | 3. 上皇 | 4. 執権 |
|-------|-------|-------|-------|
-
- 問5 平安時代の藤原氏と皇室の系図を読み取ると、藤原氏の娘たちが天皇のきさきとなり、その間に生まれた子どもが次の天皇として即位する血縁関係が繰り返し見られます。この関係を利用して藤原氏が政治の実権を握った仕組みの説明として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|---|
| 1. 地方の有力な武士と主従関係を結び、軍事力を背景に朝廷を統制する仕組み。 | 2. 天皇が位を退いて上皇となり、院庁を開いて政治の実権を握る仕組み。 | 3. 天皇の母方の親戚（外戚）の立場を利用して、摂政や関白に就任し政治を行う仕組み。 | 4. 武士の棟梁が幕府を開き、朝廷から政権の委任を受けて全国を支配する仕組み。 |
|--|-------------------------------------|--|---|
-
- 問6 平安時代に発達した国風文化の中で、漢字を日本風に簡略化したり、その一部を抜き出したりすることによって作られた、日本語の音を表記するための文字を何というか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. かな文字 | 2. 万葉仮名 | 3. 甲骨文字 | 4. ハングル |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問7 平安時代末期に、武士として初めて太政大臣となり政治の実権を握った人物は誰ですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| 1. 源頼朝 | 2. 平清盛 | 3. 足利尊氏 | 4. 藤原道長 |
|--------|--------|---------|---------|
-
- 問8 平安時代初期、現在の東北地方に居住し、朝廷の支配が十分に及んでいなかった人々を指す名称として正しいものはどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 蝦夷 | 2. 南蛮人 | 3. 渡来人 | 4. 隼人 |
|-------|--------|--------|-------|
-
- 問9 平安時代中期の11世紀、摂政を務めた藤原頼通によって建立された建築物について、その背景と目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2022年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 末法思想の広がりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が流行したため、その世界を地上に再現しようとした。 | 2. 室町幕府の足利義満が、北山文化を象徴する豪華な別荘として、一階を寝殿造、三階を禅宗様として建築させた。 | 3. 平氏による南都焼討からの復興を願い、東大寺の再建とともに大仏殿の修復を行うことで権力を示そうとした。 | 4. 聖武天皇が仏教の力で国を治めるため、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、その総本山として都に巨大な寺院を築いた。 |
|---|--|---|---|
-
- 問10 平安時代、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の「国風文化」が発達しましたが、この時期に貴族が住んでいた、中心となる建物と廊下、池のある庭園などが特徴的な建築様式を何といいますか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 寝殿造 | 2. 書院造 | 3. 合掌造 | 4. 武家造 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問11 国風文化の時期には、漢字を簡略化して作られた「かな文字」が普及しました。これによって、それまで漢字を主に使用していた男性だけでなく、貴族の女性らによる文学作品が多く誕生しましたが、この時期に清少納言によって執筆された、四季の情景などを綴った随筆を選んでください。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| 1. 枕草子 | 2. 古事記 | 3. 源氏物語 | 4. 日本書紀 |
|--------|--------|---------|---------|
-
- 問12 平清盛の娘である徳子が天皇の后となり、その子が安徳天皇として即位したという関係は、かつて藤原道長が娘を一条天皇の后にした関係性と共通しています。このような、天皇の母方の親族として政治の実権を握る仕組みを説明する言葉として適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 上皇として院政（いんせい）を行い、天皇の代わりに実務を担うこと。 | 2. 下地中分（したじちゅうぶん）を行い、土地の支配権を天皇と分けること。 | 3. 天皇の外戚（がいせき）となって、政治を動かす権限を持つこと。 | 4. 天皇の執権（しっけん）となって、軍事的な指揮権を独占すること。 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
-
- 問13 平安時代の歴史的特色をまとめた解説において、当時の文化が「国風化」していった背景や特徴を説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|
| 1. 遣唐使の停止などにより、大陸の文化を日本の生活や好みに合わせて消化・吸収した。 | 2. 朝廷の権力が衰退し、地方の農民や町人の力によって素朴な文化が形成された。 | 3. 武士が政治の実権を握ったことで、質実剛健で力強い文化が好まれるようになった。 | 4. キリスト教の伝来に伴い、西洋の学問や芸術が日本の伝統文化と融合した。 |
|--|---|---|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 藤原氏が天皇の母方の親戚となり、摂政や関白の職を独占して政治の実権を握った。	平安時代の政治は、初期の律令に基づく政治から、中期の藤原氏による摂関政治、後期の院政や武士の台頭へと変化しました。摂関政治は、藤原北家が他の貴族を排斥し、天皇との血縁関係を背景に、摂政・関白という最高職を世襲することで成立しました。白河上皇が院政を始めたのは、この摂関政治を抑えるためでもありました。
問2	答え 2 国司による重い税負担を回避し、土地の支配権を実質的に守ること	地方の開発領主たちは、国司からの重税や干渉を避けるため、権威のある貴族や寺社に土地を寄進しました。これにより、税を納めない権利（不輸の権）や役人の立ち入りを拒否する権利（不入の権）を認めさせ、自らの土地支配を安定させようとした背景があります。
問3	答え 1 中国では長らく続いた唐が滅亡し、社会が混乱する五代十国の時代に入った。	10世紀初頭の907年に唐が滅亡した後、中国では「五代十国」と呼ばれる分裂と戦乱の時代が約半世紀続きました。この大陸の情勢不安は、日本が遣唐使を停止した理由の一つでもあり、その後の国風文化の発達を促す背景となりました。隋の統一は6世紀末、元の成立は13世紀、李氏朝鮮の成立は14世紀末の出来事です。
問4	答え 3 上皇	白河・鳥羽・後白河の3名は、いずれも天皇の位を退いて「上皇」という立場になり、自分の居所である「院」において政治を行いました。この時期は、天皇よりも上皇が強い権力を持つことが通例となりました。
問5	答え 3 天皇の母方の親戚（外戚）の立場を利用して、摂政や関白に就任し政治を行う仕組み。	藤原氏は自分の娘を天皇のきさきにし、生まれた子どもを次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚（外戚）という立場を確立しました。この血縁関係を背景にして、天皇が幼いときは摂政、成人してからは関白となって政治の実権を握りました。
問6	答え 1 かな文字	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が生まれました。その中で、それまで使われていた漢字を崩したり、一部を抽出したりして、日本語特有の響きを自由に書き表せる「かな文字」が考案されました。これにより、人々の感情をきめ細やかに表現することが可能になりました。
問7	答え 2 平清盛	武士として初めて最高官職である太政大臣に就任したのは平清盛です。自らの娘を天皇のきさきにして外戚となることで、政治的な地位を不動のものにしました。
問8	答え 1 蝦夷	律令国家の形成を進める朝廷は、現在の東北地方に住み、独自の生活様式を保っていた人々を「蝦夷（えみし）」と呼びました。朝廷は彼らを支配下に置くため、軍事的な征服や、城柵と呼ばれる拠点の構築を長年にわたって進めました。
問9	答え 1 末法思想の広がりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が流行したため、その世界を地上に再現しようとした。	藤原氏の権勢が絶頂期にあった平安時代中期、仏教の教えが衰える「末法」の時代が来ると信じられ、人々の間で浄土信仰（極楽往生を願う信仰）が急速に広まりました。藤原頼通は、父・道長から譲り受けた別荘を寺院に改め、阿弥陀如来を本尊として祀ることで、経典に描かれる華麗な極楽浄土の様子を視覚的に表現しました。
問10	答え 1 寝殿造	平安時代の中期、日本独自の風土や感覚に合わせた国風文化が栄えました。この時期、貴族の邸宅として用いられた建築様式は「寝殿造」と呼ばれます。池を中心とした庭園を囲むように、中心となる建物（寝殿）と、そこから伸びる廊下（渡殿）でつながれた開放的な構造が大きな特徴です。
問11	答え 1 枕草子	平仮名の普及は、日本人の繊細な感情を表現することを可能にしました。一条天皇の中宮定子に仕えた清少納言は、鋭い観察眼で宮廷生活や自然の美しさを捉え、「枕草子」を著しました。同じ時期に紫式部が著した長編物語である「源氏物語」と並び、平安文学の最高峰とされています。
問12	答え 3 天皇の外戚（がいせき）となって、政治を動かす権限を持つこと。	平清盛は武士でありながら、藤原氏のような有力貴族と同じように「外戚（がいせき）」という血縁関係を利用して権力を握りました。清盛は安徳天皇の外祖父（母方の祖父）となり、天皇を支える名目で一族を高い官職に就け、政治を私物化しました。このように、娘を天皇に嫁がせて生まれた子を後盾にする手法は、日本の古代から中世にかけての権力闘争において重要な役割を果たしました。
問13	答え 1 遣唐使の停止などにより、大陸の文化を日本の生活や好みに合わせて消化・吸収した。	国風文化は、単に中国文化を拒絶したのではなく、それまで取り入れてきた大陸の文化を日本の風土や日本人の感性に合うように作り替えた点に特徴があります。住居様式の寝殿造や、大和絵などはその代表的な例です。